

ききマネ

みんなでききあう

NPOマネジメント

「ききマネ」とは

実際に他の団体がしている
マネジメントや運営の仕方を聞きあい、
マネしあう。そして本当に効く
NPOマネジメントの意味です。

どうしてやってるの？ 市民の意志表明の 場をつくるパレード

2011年、日本では東日本大震災を契機に社会や自分たちの生き方を変えよう、という声に賛同し多くの「パレード」や「デモ」^{※1}が行われました。また、世界ではチュニジアで始まった「アラブの春」や世界各地で格差社会をなくすためのデモも数多くありました。デモやパレードに初めて参加（初デモ／デモ・デビュー）したり、デモのイメージが変わった、という方も多かったのではないのでしょうか。そこで今回は「自然エネルギーにシフトしていくことをテーマにみんなで街を楽しく真剣に練り歩くパレード」を開催する「エネルギーシフトパレード」（以下、エネパレ）の呼びかけ人の一人である羽仁カンタさんにお聞きします。

※1 本文ではテーマや呼びかけに応じて市民が自発的に集まり、集団で路上を歩く、行進することで意志表明する行動、集団示威運動、デモンストレーション（デモ）、ウォークなどを含めてパレードと表記します。

東日本大震災は一人ひとりが今までの生活や社会のあり方を本気で考え、変えなければいけない大きなきっかけとなりました。市民が原子力発電（以降、原発）や次のエネルギーに対して何かを感じているはずだ、その意志表明する場をつくりたい。新しい方策を選びたい、という人たちがこんなにくさんいるんだ、ということを見える形にしたい。意志は行動で見える形にしないと、思っているだけでは社会的にはなかったことにされ、自分たちの求

なぜ路上なの？
市民が意志表明する場をつくりたい

人は恐怖を植え付けられることでコントロールされやすくなります。怖がらせるのではなく、新しい方向への賛同を求めることで明るい未来をつくることは可能なんだと表明するわけなので、明るいイメージで

「明るさ」にこだわる理由
賛同を求める運動へ

めていない方向に進んでいく可能性
があります。社会にある様々な課題
や問題を市民自らが解決するために
行動する「参加型社会」をつくるた
めには、いろんな人がいる、見てい
る路上で意志表明する場を作る必要
があるのです。



“楽しく真剣に練り歩く”パレードの様子。
写真提供:エネルギーシフトパレード

パレードする必要があります。強いイメージを持たれるパレードの名前は、その場をどういう場として見られたいか、どういうイメージをもたれたいか、ということと深い関係があります。

「エネルギーシフトパレード」の「シフト」という言葉には反対運動ではなく新しい方法への賛同を求める運動であることを強く意識しています。デモという過激、近寄りたくない、特別な人たちがしている、というイメージがあり、共感はするけれども参加はしづらい人もいると想像し、パレードと呼びます。多くの「普通の人たちが」が参加したくなる、参加しやすい場をつくることごとくも大事だと思っています。

出会うの場をつくる

また、パレードをする目的のひとつに出会いの場づくりもあります。自分と同じ意見を持つ人たちと集う場をつくり、こんなにたくさんの人たちがいる、ということがわかると、自分たちがめざす社会が本当に実現するんだ、と力づけられます。

参加しやすい場をつくる 安全な場を準備

多くの人が路上で集まるので準備がとて大切です。参加した人たちが事故や事件に巻き込まれないようにリスクを最小限にする必要があります。エネパレの場合、家族連れや子どもたちにたくさん参加して欲しかったので、ルートの地図をつくりトイレや休憩場所、水分補給、暑さ対策についての情報などを配布しました。スタッフで役割分担し、マニュアルをつくり、会議やメールで準備を重ねます。

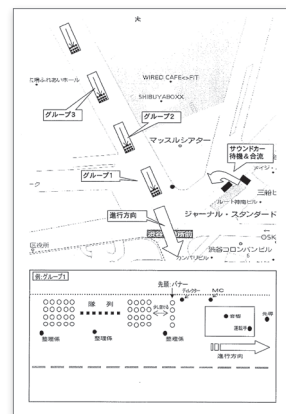
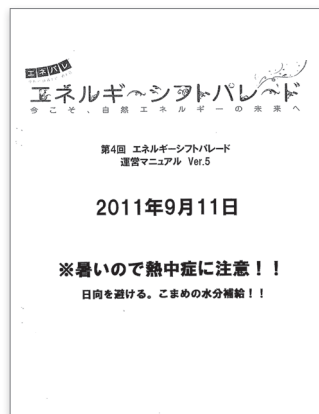
当日、歩く速度が早すぎると疲れたり、けが人が出るおそれがあるので、グループ計画も大事です。エネパレでは参加者層をいくつかのグループにわけ、子どもや家族連れの列を先頭にし、各グループ間のスタッフがトランシーバーで連絡し合って歩く速度を調整、整理するなどします。体調が悪い人が出た場合に対応するスタッフも配置します。

参加者へのPR

来てもらいたい人たちがイメージし、その人たちに受け入れられるような色やデザインを考えます。エネ



【右】スタッフマニュアル表紙とパレード全体の配置図。
【上】明るく楽しいイメージのシール。



パレードに関する必要な手続き

- スタート、ゴール地点の場所の使用申請
公園管理事務所などへ。参加想定人数が集まれる場所の確保と占有面積に応じた料金が必要。代々木公園の場合1平米約30円（エネパレの例）。多めに申請するとその分出費も増える。
- 「集会・集団示威運動許可申請書」の提出
歩くルートを所管している警察署すべてに72時間以上前に提出。内容は主催者の連絡先、日時、集合、解散場所、参加予定人数、目的、現場責任者、ルート地図など。車の荷台に人が乗る場合は別途「荷台乗車の許可」申請も。多くは前日に許可書が出る。

エネパレ
ENERGYPARE.Org

エネルギーシフトパレード

NO NUKES MORE HEARTS 主催
IN NO NUKES! ALL ST★R DEMO 2

2011年12月3日(土) at 代々木公園
13:00 ケヤキ並木前集合 14:00 スタート
www.nonukesallstardemo.com



エネルギーシフトパレードは
原発を卒業して、自然エネルギーにシフトしていくことをテーマに、
みんなで街を楽しく真剣に盛り歩くパレードです！
そして、今回はNO NUKES MORE HEARTS主催の
「NO NUKES! ALL ST★R DEMO 2」に参加します。
Energy Shift Now! 今こそ自然エネルギーの未来へ
皆さんもエネパレと一緒に歩きましょう！

今後のエネパレ アクション紹介(予定)

今後はパレードだけではなく様々なアクションを行っていきます。

1. 購買アクション 直接国会議員の方に原発・自然エネルギーシフトへ向け直接アプローチしよう。
2. 気づきアクション 普段原発を食糧しない若者に、クラブやライブハウスなどでアートを使って表現しよう。
3. 東電レシート 原発の電力をいらぬ人の東電レシートを集めて積算量をカウント、原発がいらないことを発信しよう。
4. エネパレ絵本 親子にわかりやすい原発・エネルギーシフトの絵本を作ろう。

その他、イベント出展や上野会なども企画中！一緒に作って仲間募集！
【お問い合わせ】 info@enepare.org

エネパレの詳細はコチラ <http://www.enepare.org/>

家族連れや子どもにも親しみやすいデザインをこころがけたらし。



【写真上】スタッフが拡声器でアピール。トランシーバー、ごみ袋も持っている。【下】車の速度を調整するために、先頭は必ず人が歩く。
写真提供:エネパレ

楽しい場をつくる

反対の連呼や攻撃的な言葉は道行く人々を怖がらせ、歩いている人た

パレの場合は子どもたちや家族連れに親しみやすいように、テーマカラーを緑にし、ちらしやロゴ、当日のスタッフの洋服などのカラーとしました。また、お花の明るく楽しいイメージと菜の花が放射能を土壌から取り除くことをアピールしたかったので、ちらしやロゴに描き、当日お花を車にディスプレイしたり、持って歩いたりしました。

メッセージの伝え方

断幕)をつくりまします。スタッフは共

ただ楽しいだけではなく、パレードには主張がないといけません。主張がわかるプラカードやバナー(横

ちも楽しくなくなりまします。また、ただ歩くだけでは退屈します。エネパレではMC係が拡声器を通じて呼びかけながら歩き、かけ声を一緒にかけたり、ラジカセで音楽をかけ、みんなで歌えるように歌詞を配ったりもしました。広報時に小型の楽器をもつてくる呼びかけもしています。

みんなでうたう曲(かけ声)

森のくまさん(かえうた)

おひさま♪ (おひさま♪) こんにちは♪ (こんにちは♪)
さようなら♪ (さようなら♪) げんしりよく♪ (げんしりよく♪)
ラララ えねしふと〜♪ みんなで えねしふと〜♪

ゆかいなまきば(かえうた)

げ〜んしりよくは いやいやよ〜♪

しぜんのちからで えねしふと〜♪

One love (かえうた)

one love one heart こどもを守ろう be alright!
one love one heart 未来をつかもう be alright!

ポラーレ(かえうた)

ポラーレ さあ! 今こそ かえよう!
美しい国へ〜 ぼくらのちからで〜!

かけ声1

エネルギー シフト なう!

かけ声2

(こどもを守ろう)エネシフト! (自然のカへ)エネシフト!
(未来のために)エネシフト! (バイバイげんぱつ)エネシフト!

みんなで歌うためにエネパレで配った歌詞。

2011年6月8日
プレスアドバイザー



第3回エネルギーギフトパレードのご案内
～震災から3か月、犠牲者、そして自然エネルギーへの思いを込めて～
6月11日(土) 14:46から @ 代々木公園ケヤキ並木スタート

あいさつ

開催日時

会場

コース

地図 URL

賛同人

呼びかけ人

問い合わせ先

プレスリリース。ポイントを押さえ、簡潔に。



パレード前集会の様子。写真提供:エネルギーギフトパレード



カンパガールズ。カンパしてくれた人にガーベラの花を差し上げた。
写真提供:エネルギーギフトパレード

通したメッセージをPRできるように台詞を書いた紙を準備します。

◎パレード前後のイベント

パレードの前集会は、挨拶、趣旨説明、黙祷、スタッフの紹介、かけ声の練習、ゲストの唄、安全のための注意事項、体操、など。歌詞やかけ声の紙の配布も。パレードの後集会は、おはなしやライブ、報告などをします。

◎より多くの人たちに

アピールするために
パレードという方法はその場にい

る人たちにしか知らせることができません。けれども、報道されると、より多くの人たちに知らせることができます。パレードの前と後にマス

コミにプレスリリースをします。開催前のプレスリリースでは開催日時や目的を伝え、取材申し込み、情報提供希望を受けます。開催後は当日の人数や様子、成果など。

掲載された場合にはお礼や次回のご案内、情報なども送ると次につながります。また、パレードの前に参加者全員で知り合いにメールやツイートの時間をつくりました。

パレードの人数の数え方

社会にPRするためには参加人数の報告も大事。歩道橋の上などいくつかの地点に定点で人数をカウントするスタッフを配置、線を設定しそこを越える人数をカウントする、など。

パレードとお金 カンパガールズ&ボーイズ

パレードには集合解散場所の会場費、レンタカー、ガソリン代、音響装置、印刷代、バナーや飾り、拡声器やトランシーバーのレンタル代などのお金がかかります。当日カンパ箱を持ったスタッフが呼びかけます。後日ウェブサイトなどでの会計報告も大事。



【写真左】楽器をもった人もたくさん参加。写真提供:エネルギーシフトパレード。
【下】菜の花をあしらったロゴ。



羽仁カンタさん
<http://www.gomizero.org/>

誰もが対等な、参加型市民社会を目指す多様な活動を設立し展開している。1991年「環境NGO A SEED JAPAN」設立。現在は理事／ごみゼロナビゲーション統括責任者として多くの若者たちと野外ロックフェスティバルでの環境対策事業や、使用済み携帯電話に含まれる希少金属を回収しゴリラの保護活動を支援する「ケータイゴリラ」のしくみをつくる。



「フラットスペース」代表。米国同時多発テロ事件発生時には平和的解決を求めるムーブメント「CHANCE!」呼びかけ人となり、ピースウォークを実施。著書『NGO運営の基礎知識』（アルク出版）、共著『非戦』坂本龍一＋sustainability for peace 監修（幻冬舎）。

●エネルギーシフトパレード <http://www.enepare.org/>

2011年の原子力災害を契機に原発を卒業して、自然エネルギーにシフトしていくことをテーマに、みんなで原宿・渋谷の街を楽しく真剣に練り歩くパレード。とくに市民活動をしてきたわけではない、ごく普通の主婦や社会人、学生らによって手作りで運営されている。パレードは子どもや家族連れなど誰もが参加できる、ピースフルで花と笑顔にあふれることを大切にしている。

- 実施日時と参加人数： 2011年4月24日 約5000人／5月15日 約700人／6月11日 約1500人／9月11日 約900人
- 呼びかけ人： 羽仁カンタさん（FLAT SPACE）、南兵衛@鈴木幸一さん（アースガーデン）、佐藤潤一さん（グリーンピース・ジャパン）

初参加者インタビュー
（東京都在住 43歳 女性 会社員）

なぜ参加したのですか？

今回の原子力災害は自分自身にも責任があると感じました。無関心であることが事故を引き起こしたと考えているので、自分のできることをしたい。パレードに参加することで脱原発の世論が広がって欲しかった。一人でも多くの人が参加しないと広がらない。

自分は「普通」の社会人。デモに参加する人は特別な人ではなくて「普通」の人がひとりでも増えることが社会を変えていくパワーになっていくのではないかと思います。

参加してどうでした？

準備がよくされていたので安心して歩けました。音楽やスピーチで盛り上げてくれて。

自分たちと同じ考えの人たちがたくさんいることに勇気づけられて、知り合いになれた人もたくさんいて、原発をなくすための次の活動も始めました。

運営のヒントは事例にあり!…このコーナーは、さまざまな市民活動団体の成功例・失敗例など活動者の“生の声”で構成し、読者のみなさんといっしょに誌面をつくっています。NPOの運営や市民活動団体に関するご質問、活動をするうえでの悩みに対してご自身の体験事例をお寄せください。Email: nw@tvac.or.jp FAX: 03-3235-0050 まで。

さまざまなアピールの形

デモという反対運動、というイメージがあるかもしれませんが、社会にある課題や当事者のおかれている状況を表現する場としてさまざまなパレードが行われています。市民の課題や問題への気づき、社会を変える力につながっています。

■当事者の自己表現や状況をアピールするパレード

◎歩こうよ むらさきロード

子どもと女性に対する暴力をなくそうと社会に訴えるためドメスティック・バイオレンス、性暴力、虐待などの被害当事者(サバイバー)を中心に非暴力を訴える仮装パレード。DV根絶の象徴パープルリボン、児童虐待根絶の象徴オレンジリボンを掲げて歩く。

◎リカバリーパレード

「回復」という言葉の元集まり依存症、心の病からの回復を援護、支援する。依存症、心の病に対する社会の無知と偏見を取り除き、回復しやすい社会をつくることを目的としている。

◎東京プライドパレード

セクシュアル・マイノリティへの差別、偏見をなくし、正しい知識と理解を広め、性的少数者が生きやすい社会の実現を目指すことを目的としている。

■課題を知らせる、啓発のためのパレード

◎オレンジリボン運動によるパレード

子どもの虐待をなくすために、虐待死を悼み、虐待について知り、できることを考え、行動を広げることが目的としている。

◎スタンドアップ・ティーク アクションによるパレード

「立ち上がる」ことで貧困を終わらせる意志を集めるアクションの一端としてのパレード。M D G s (ミレニアム開発目標)の達成を目的としている。

※当センターウェブサイトにの投稿記事より抜粋した情報です。

取材・文：池澤良子(相談担当専門員)

ご協力いただいたエネルギーシフトパレード呼びかけ人の羽仁カントさん、インタビューに応じてくださった参加者の方、ありがとうございました。

◆ききマネバックナンバーのご案内◆

寄付収入アップの決め手	284号	ヒット商品をつくりたい	297号
NPOをめぐる質問	285号	NPOが変わるときの手続きは?	299号
NPOの人と資金をめぐる質問	286号	どうする? どうした? 活動資金	302号
事務局長の謎	287号	ボランティアのためのハンドブック	306号
企業とのおつきあいのはじめ方	288号	物品寄付	307号
プレスリリース	289号	任意団体のつくり方	308号
会員の謎と増やし方に迫る	290号	NPO 法人と一般社団法人	309号
どうする? NPOの事務所!	291号	「つながり」の中で活動する	310号
年度末・年度はじめにしていることは?	292号	NPO 法人会計基準って?	311号
パンフレット、どうつくる?	293号	「寄付アクション!」8つのステップ	312号
助成申請の手順とコツ	294号	災害ボランティアの分かち合いの会	313号
ボランティアを募集しよう!	295号	多世代のメンバーと一緒に活動する	315号
事務局ボランティアの募集	296号		

*276~283号については、お問い合わせください。

TVACの相談

TEL:
03-3235-1171



東京ボランティア・市民活動センターでは、NPO、ボランティアグループからのNPO法人設立・運営などのご相談をお受けしています。ぜひ、お電話ください。